



令和五年 文月

城北中だより

城北中学校教育目標

- 思いやりのある生徒
- 真剣に学ぶ生徒
- 健康な生徒

令和5年6月30日発行

「考えは言葉となり 言葉は行動となり 行動は習慣となり
習慣は人格となり 人格は運命となる」

校長 和田 卓也

日本列島はまだまだ梅雨真ただ中ですが、いよいよ7月も目前、夏本番の到来です。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

先月は、中学校総合体育大会（いわゆる「学総」）に始まり、3年生は「修学旅行」、2年生は「未来ワーク職業体験」と充実のひと月でした。特に、学総期間中は、様々な会場で勝利を目指し、必死に戦う生徒たちの姿を目の当たりにして胸が熱くなりました。

6月を境に中学生の生活は大きく変わります。部活を引退した3年生は受験を含めた進路選択期間に突入していきます。また、1・2年生については、新体制のもと部活動に臨むことになります。

立場こそ違え、それぞれ新しいステージに突入する生徒たちに、朝会の機会を活用して表題の言葉を応援メッセージとして送りました。

これは、イギリス初の女性首相となったマーガレット・サッチャーさんが述べた言葉です。自分の考えを言葉として発し、それを行動化することで習慣となり、習慣は人格にも影響を及ぼし、ひいては運命をも変えていくというという意味です。つまり、考え方を変え、それを実践していくことで、自分の力で人生を切り拓いていくことができるということです。新しいステージに突入した「チーム城北」の皆さんには、ピッタリの言葉だと思います。是非、1年後の自分の姿を想像しその姿に向かって努力してくれることを期待しています。また、私たち教職員も、全力で応援させていただきます。

最期になりますが、今回の学総において私が見ただけでも名勝負は数知れず。本当は全員の声をお届けしたいところですが、紙面の都合上、代表として女子卓球部長の声を紹介させていただきます。

ちなみに、彼女は団体戦の3試合、すべてフルセットの大熱戦。しかもすべて先行され追いかける展開。試合が終わると、すぐに次の学校との対戦。3試合目ともなると、疲労もピーク…集中力も限界…でも、自分で自分を鼓舞し、戦い続ける姿。そしてその彼女を一生懸命応援するチームメイトの姿…私にとって今回の大会を象徴する1シーンでしたので、直接お願いして感想をいただきました。

（前略）私が団体戦で特に印象に残っていることは、全員が勝利を目指して追い込まれた状況でも諦めず試合に挑み続けたことです。3ゲームを先取しなければならぬ中、0-2と追い込まれた状況…でも諦めず最後まで勝利を目指し続けた結果、3-2で勝利をつかみ取ることができました。この勝利が城北中の勝利に貢献できたと思えました。この勝利は団体戦に出場することができなかったメンバー、1人ひとりの応援があったからこそつかみ取れたものだと思います。（いろいろな人が）学総にかける3年生の熱き思いを感じ取ってくれていたら嬉しいです。これからは2年生、1年生が部活動の主体になります。感じた熱い思いを受け継ぎ、無理せず全力で部活動を行って欲しいと思います。頑張ってください。
～女子卓球部部長 鶴見 葵～

今回の大会に参加した皆さん（特に3年生！）。みなさんの熱い思いはちゃんと伝わってます。本当にお疲れさまでした。そして、これまで支えてくださった保護者の皆様。ありがとうございました。

